

平成 31 年度  
神戸大学「志」特別入試の概要  
(アドミッション・オフィス入試)



## 目 次

1	神戸大学「志」特別入試について	1
2	アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）	2
3	募集人員及び入試区分	13
4	入試日程（予定）	14
5	入学者選抜方法等	15
	問い合わせ先	裏表紙

この資料は、現時点の予定であり、変更の可能性があります。

詳細は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

# 1. 神戸大学「志」特別入試について

神戸大学は世界へ開かれた港湾都市・神戸の地に創設され、開学以来、「学理と実際の調和」の理念の下で、普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、人間性豊かな指導的人材を養成することを使命としてきました。



本学はこのような伝統に立脚しつつ、現在、人文社会系・自然生命系双方が有する特色や強みを発展させて世界最高水準の教育研究拠点を構築するとともに、現代および未来社会の課題を解決する新たな価値を創造し続けるため、様々な挑戦を行っています。教育においては、学生が先端研究の臨場感の中で創造性や主体性を高め、幅広い学識に基づく問題発見力、分析力、実践力を培うことにより、地球的諸課題の解決に先導的役割を担いうる人材に成長することを目標としています。

本学は、このような人材育成の展開の一環として、それぞれの分野のリーダーとなって21世紀の人類社会に大いに貢献したいという、高い志をもつ学生を見出すために、平成31年度入試より“「志」特別入試”を導入します。この入試では、今日の入試改革の理念をふまえた新しい選抜方法の採用によって、これまでにはない学力の特徴を有した学生を選抜します。入学する学生の皆さんには、志を高くもって大学における学修に励み、自身の専門分野を探索し、卒業後はグローバル社会に羽ばたく人材になってくれることを期待するものです。

受験生の皆さんには、神戸大学「志」特別入試へ積極的にチャレンジして欲しいと願っています。

神戸大学長 武田 廣

## ＜＜選抜方法の特色＞＞

神戸大学「志」特別入試では、現在進められているわが国の大学入試改革の理念にもとづき、学力の3要素の多面的・総合的評価をふまえた選抜を実施します。

第一次選抜では、志望理由や高等学校時代の様々な活動の経歴等に加え、本学で学ぶために必要な基礎的学力に対する評価を本学のアドミッションセンターにおいて行います。

最終選抜では、目指す学部・学科等において、それぞれに特化した適性を見極め、専門分野にかかわる学力を有しているかを総合的に評価します。同時に、全ての受験生に面接を課すことにより、書面のみでは測れない学力を対面によって評価することを重視します。

## 2 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

### 神戸大学が求める学生像

神戸大学は、世界に開かれた国際都市神戸に立地する大学として、国際的で先端的な研究・教育の拠点になることを目指しています。

これまで人類が築いてきた学問を継承するとともに、不断の努力を傾注して新しい知を創造し、人類社会の発展に貢献しようとする次のような学生を求めています。

1. 進取の気性に富み、人間と自然を愛する学生
2. 旺盛な学習意欲を持ち、新しい課題に積極的に取り組もうとする学生
3. 常に視野を広め、主体的に考える姿勢を持った学生
4. コミュニケーション能力を高め、異なる考え方や文化を尊重する学生

### 各学部等のアドミッション・ポリシー

#### 文学部

文学部では、人間がつくり上げてきた文化に対する好奇心を高め、多様な角度から人間存在の深みに光をあてる教育研究を行っています。各自の好奇心を学問的に問題化し検証する訓練を積むことで、人文学の幅広い知識と深い洞察力を身につけた人材を育成することを目標にしています。そのために、次のような学生を求めています。

文学部の求める学生像

- 【人間性】みずみずしい感受性と想像力を持っている学生
- 【創造性】既成の価値観にとらわれることなく、自分で問題を発見し、探求していくことができる学生
- 【国際性】言葉や文化、人間の行動、歴史や社会に対する幅広い関心と好奇心を持っている学生
- 【専門性】基礎学力、とりわけ論理的思考力、日本語及び外国語の読解力・表現力、情報リテラシーを備えている学生

以上のような学生を選抜するために、文学部では書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、小論文、面接・口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 国際人間科学部 環境共生学科

国際人間科学部では、グローバル社会で生起する環境、災害、民族、宗教、経済格差、人権、教育、社会福祉等に関わる諸課題を深い人間理解と他者への共感をもって解決し、世界の人々が多様な境界線を越えて共存できる「グローバル共生社会」の実現に貢献する「協働型グローバル人材」を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

国際人間科学部（環境共生学科）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】現代社会の諸問題を発見し、その問題を多面的にとらえて考察し、自分の考えをまとめる基礎的な能力を有する学生
- 【国際性】異なる考え方や文化を尊重し、共感をもって、積極的にコミュニケーションを行う資質を有する学生
- 【専門性】国内外の様々な人と連携・協働して、地球規模で問題を解決し、社会に貢献しようとする意欲を持つ学生

以上のような学生を選抜するために、国際人間科学部では書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、ポスタープレゼンテーション・小論文、面接・口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 法学部

法学・政治学は、社会の中で人々が共存するために必要な社会システムの在り方を問う学問です。神戸大学法学部では、幅広い教養と法学・政治学的素養を備え、現代社会における専門的要請に対応し得る問題解決能力を身につけ、将来、法学・政治学の領域において活躍できる人材の育成を目標として、次のような学生を求めています。

法学部の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努め、将来、法学・政治学の素養を積極的に活かそうとする学生
- 【専門性】社会科学を修めるのに必要な一般的教養・知識と論理的思考力を有し、これらの能力を活用しつつ法学・政治学を修得する意欲に富む学生

以上のような学生を選抜するために、法学部では、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、及び面接・口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 医学部 保健学科 看護学専攻

保健学は、心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して、人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。神戸大学医学部保健学科は「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

医学部（保健学科 看護学専攻）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】高い倫理観と科学的視点をもち、医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け、将来、それぞれの専門領域における指導者として、国際的に活躍するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、医学部保健学科看護学専攻では、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、課題提示・プレゼンテーション・口頭試問、面接により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 医学部 保健学科 検査技術科学専攻

保健学は、心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して、人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。神戸大学医学部保健学科は「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

医学部（保健学科 検査技術科学専攻）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】高い倫理観と科学的視点をもち、医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け、将来、それぞれの専門領域における指導者として、国際的に活躍するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、医学部保健学科検査技術科学専攻では、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、課題提示・プレゼンテーション・口頭試問、面接により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 医学部 保健学科 理学療法学専攻

保健学は、心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して、人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。神戸大学医学部保健学科は「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

医学部（保健学科 理学療法学専攻）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】高い倫理観と科学的視点をもち、医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け、将来、それぞれの専門領域における指導者として、国際的に活躍するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、医学部保健学科理学療法学専攻では、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、面接により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 医学部 保健学科 作業療法学専攻

保健学は、心身の健康と疾病や障害に関する教育と研究を通して、人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する実践的学問です。神戸大学医学部保健学科は「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

医学部（保健学科 作業療法学専攻）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】高い倫理観と科学的視点を持ち、医学・保健学を基盤とした専門的知識を身に付け、将来、それぞれの専門領域における指導者として、国際的に活躍するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、医学部保健学科作業療法学専攻では、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、模擬実習・口頭試問、面接により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 工学部 建築学科

建築学（建築学科）は、人間生活の基盤である住宅及び建築施設等の生活空間を創造する学問（学科）です。神戸大学工学部建築学科は開学以来の「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

工学部（建築学科）の求める学生像

- 【人間性】高い倫理性を身につけ、科学技術が社会へ及ぼす影響について理解し、主体的かつ協働して行動しようとする学生
- 【創造性】自ら思考する力を持ち、新たな発想を自由闊達に表現しようと努力する学生
- 【国際性】海外と幅広く交流し、異文化をより深く理解し、多様な文化・価値観の中で、個性を発揮しようとする学生
- 【専門性】「計画」・「構造」・「環境」という建築の基礎的学問領域の知識を習得し、これらを総合して様々な課題に対応する具体的な解答を導き出す「空間デザイン」の能力を身につけようと努力する学生

以上のような学生を選抜するために、工学部建築学科では書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、小論文、口頭試問及び面接により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 工学部 市民工学科

工学部市民工学科は、社会基盤施設の計画、建設、保全を通じて、安全・安心で環境に調和した市民社会を創成することを目指す工学領域です。神戸大学工学部市民工学科は、従来の「土木工学」を基礎とし、さらに幅広い内容を持つ工学領域を新しいCivil Engineering（＝市民工学）としてとらえ、市民社会が必要とする「パブリックサービス」の担い手を育成することを目的として、次のような学生を求めます。

工学部（市民工学科）の求める学生像

- 【人間性】高い倫理性を身につけ、科学技術が社会へ及ぼす影響について理解し、主体的かつ協働して行動しようとする学生
- 【創造性】自ら思考する力を持ち、新たな発想を自由闊達に表現しようと努力する学生
- 【国際性】異文化をより深く理解し、多様な文化・価値観の中で研鑽を積もうとする学生
- 【専門性】市民工学における高度な専門知識と幅広い見識を身につけて、社会基盤施設に関連した研究者・技術者・プロジェクトマネージャーとして広い視点から課題に取り組もうとする学生

以上のような学生を選抜するために、工学部市民工学科では書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、小論文、演習、面接・口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 工学部 電気電子工学科

工学部電気電子工学科は、電子物理、電子情報に関わる技術・理論を総合的に学ぶ学科です。神戸大学工学部電気電子工学科では「真摯・自由・協同」の精神に基づいて、広く社会においてリーダーとして活躍でき、電気電子工学分野の発展を担う人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

工学部（電気電子工学科）の求める学生像

- 【人間性】高い倫理性を身につけ、科学技術が社会へ及ぼす影響について理解し、主体的かつ協働して行動しようとする学生
- 【創造性】自ら思考する力を持ち、新たな発想を自由闊達に表現しようとする学生
- 【国際性】海外と幅広く交流し、異文化をより深く理解し、多様な文化・価値観の中で、個性を發揮しようとする学生
- 【専門性】電気電子工学における基礎知識と論理的思考力を持ち、将来、科学技術分野での活躍を期待させる意欲を持つ学生

以上のような学生を選抜するために、工学部電気電子工学科では書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、プレゼンテーション、口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 工学部 機械工学科

機械工学（機械工学科）は、バイオ、医療、福祉、健康、電気、電子、情報、通信といった幅広い分野と連携しながら、ものづくりイノベーションに挑戦する学問（学科）です。神戸大学工学部機械工学科は開学以来の「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

工学部（機械工学科）の求める学生像

- 【人間性】高い倫理性を身につけ、科学技術が社会へ及ぼす影響について理解し、主体的かつ協働して行動しようとする学生
- 【創造性】自ら思考する力を持ち、新たな発想を自由闊達に表現しようとする学生
- 【国際性】海外と幅広く交流し、異文化をより深く理解し、多様な文化・価値観の中で、個性を發揮しようとする学生
- 【専門性】機械工学における高度な専門知識と幅広い見識を持ち、研究・開発のマネージャーとして広い視点から課題に取り組もうとする学生

以上のような学生を選抜するために、工学部機械工学科では、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、プレゼンテーション、面接・口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。



## 工学部 応用化学科

神戸大学工学部応用化学科は様々な産業において必要とされる材料とそのプロセスの創出を化学の視点から学び、研究する学科です。開学以来の「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

工学部（応用化学科）の求める学生像

- 【人間性】高い倫理観を持ち、化学を中心とする科学技術が社会へ及ぼす影響について理解し、主体的かつ協働して行動しようとする学生
- 【創造性】自ら思考する力を持ち、物質の創成とそのプロセスに関する学修を通して新たな着想に結びつける努力をする学生
- 【国際性】海外と幅広く交流し、異文化をより深く理解し、多様な文化・価値観の中で、個性を發揮しようとする学生
- 【専門性】化学における高度な専門知識と幅広い見識を持ち、科学と技術を通じて、地球環境と人類社会との共生・調和に貢献しようとする学生

以上のような学生を選抜するために、工学部応用化学科では書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、化学演習・発表や口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 工学部 情報知能工学科

情報知能工学は、「情報」を媒体として既存の諸工学分野を有機的に結合し、「知能」による創造的プロセスを追求するとともに、次世代の「知能」化情報システムを創出するこれまでに無い新しい学問領域です。神戸大学工学部情報知能工学科では、旧来の学問の壁を打ち破るフロンティア精神に溢れた教育・研究の推進とともに、創造性豊かな思考と研究開発能力をもった技術者・研究者を養成することを目的として、次のような学生を求めます。

工学部（情報知能工学科）の求める学生像

- 【人間性】人類の幸福に貢献することへの強い志と高い倫理性を備え、主体的かつ協働的に行動する学生
- 【創造性】旺盛な好奇心と意欲、自ら思考、判断する力、困難な課題に立ち向かうフロンティア精神を有する学生
- 【国際性】異文化を深く理解し、多様な文化・価値観の中で個性を發揮するとともに、海外の専門家と幅広く交流して国際的に活躍することを目指す学生
- 【専門性】情報知能工学が社会に与える影響に強い関心を示し、理数系科目や語学に関する基礎的な学力を有した上で、思考力・語学力・総合的学力のいずれかに著しく秀でた学生

以上のような学生を選抜するために、工学部情報知能工学科では書類審査、模擬講義・レポート（理系）、総合問題（理系）、総合問題（情報知能工学）、面接・口頭試問により、志願者の基礎学力、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、洞察力・発想力、好奇心・意欲を多面的に評価します。

## 農学部 食料環境システム学科 生産環境工学コース

生産環境工学は工学的な手法を応用して21世紀の食料生産を支える学問です。  
神戸大学農学部食料環境システム学科生産環境工学コースは、「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

農学部（食料環境システム学科 生産環境工学コース）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】幅広く、豊かな教養とともに生産環境工学を基盤とした専門的知識を身に付け、社会の様々な出来事を分析し、論理的・創造的に思考するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、農学部食料環境システム学科生産環境工学コースでは、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、面接・口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 農学部 食料環境システム学科 食料環境経済学コース

食料環境経済学は食や農に関わる諸問題を社会科学的に解明・解決する学問です。  
神戸大学農学部食料環境システム学科食料環境経済学コースは、「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

農学部（食料環境システム学科 食料環境経済学コース）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】幅広く、豊かな教養とともに食料環境経済学を基盤とした専門的知識を身に付け、社会の様々な出来事を分析し、論理的・創造的に思考するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、農学部食料環境システム学科食料環境経済学コースでは、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、面接・口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 農学部 資源生命科学科 応用動物学コース

応用動物学は動物に関わる生命現象を解明する学問です。  
神戸大学農学部資源生命科学科応用動物学コースは、「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

農学部（資源生命科学科 応用動物学コース）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】幅広く、豊かな教養とともに応用動物学を基盤とした専門的知識を身に付け、社会の様々な出来事を分析し、論理的・創造的に思考するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、農学部資源生命科学科応用動物学コースでは、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、面接・プレゼンテーションにより、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 農学部 資源生命科学科 応用植物学コース

応用植物学は植物の生産性と品質の向上を目指す学問です。  
神戸大学農学部資源生命科学科応用植物学コースは、「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

農学部（資源生命科学科 応用植物学コース）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】幅広く、豊かな教養とともに応用植物学を基盤とした専門的知識を身に付け、社会の様々な出来事を分析し、論理的・創造的に思考するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、農学部資源生命科学科応用植物学コースでは、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、面接・口頭試問により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 農学部 生命機能科学科 応用生命化学コース

応用生命化学は多様性に富んだ生命機能を分子レベルで解明する学問です。  
神戸大学農学部生命機能科学科応用生命化学コースは、「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

農学部（生命機能科学科 応用生命化学コース）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】幅広く、豊かな教養とともに応用生命化学を基盤とした専門的知識を身に付け、社会の様々な出来事を分析し、論理的・創造的に思考するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、農学部生命機能科学科応用生命化学コースでは、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、面接・口頭試問・実技試験により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 農学部 生命機能科学科 環境生物学コース

環境生物学は持続可能で安全な生物生産システムの創造を探る学問です。  
神戸大学農学部生命機能科学科環境生物学コースは、「真摯・自由・協同」の精神に基づいて広く社会においてリーダーとして活躍できる人材を育てることを目的として、次のような学生を求めます。

農学部（資源生命科学科 環境生物学コース）の求める学生像

- 【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生
- 【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生
- 【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生
- 【専門性】幅広く、豊かな教養とともに環境生物学を基盤とした専門的知識を身に付け、社会の様々な出来事を分析し、論理的・創造的に思考するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、農学部生命機能科学科環境生物学コースでは、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、面接・口頭試問・プレゼンテーションにより、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 海事科学部 グローバル輸送科学科 航海マネジメントコース

本コースでは、船舶職員に求められる能力を基礎として、国際海事社会の中で先頭に立って活躍できる人材を育てることを目指しています。そのため、本コースでは、船舶・運航に関する実践的な知識・技術・手法を広く学びます。したがって、本コースで学ぶ学生には、海・船の活用技術に対する興味やマネジメントに関する勉学への意欲が求められるとともに、集団の中でトップとして活躍するために必要なチャレンジ精神、行動力並びに協調性が強く求められます。

このような人材を広く積極的に求めるために、アドミッション・オフィス入試を実施します。

海事科学部（グローバル輸送科学科・航海マネジメントコース）の求める学生像

【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生

【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生

【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生

【専門性】

(1) 海技者養成カリキュラムを修得し、海事関係の産官学のトップを目指す強い指向を有する学生

(2) 学際的な教育を通じて、気高い「品格」、豊かな「完成」、リーダーとしての「行動力」を修得する強い意欲のある学生

(3) 地球規模の物流・輸送活動や交通運輸関連企業の経営に興味がある学生

以上のような学生を選抜するために、国際人間科学部では書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、(小論文、模擬実習・面接・口頭試問)により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 海事科学部 グローバル輸送科学科 ロジスティクスコース

ロジスティクスコースは、地球規模でのヒト・モノ・情報の流れに関して、学際的な視点(工学・情報学・経済学・経営学)から教育・研究を行うコースです。本コースでは、多面的な視野を持つ、複数の分野の架け橋となれるような人材を育てることを目的として次のような学生を求めます。

海事科学部（グローバル輸送科学科 ロジスティクスコース）の求める学生像

【人間性】豊かな教養と高い倫理性を身に付け、自立した社会人として行動する意思のある学生

【創造性】自ら課題を設定して創造的に解決しようと努力する学生

【国際性】多様な価値観を尊重し、異文化のより深い理解に努めようとする学生

【専門性】幅広く、豊かな教養とともにロジスティクスに関して学際的な視点からの専門的知識を身に付け、さらには社会の様々な出来事を多方面から分析し、論理的・創造的に思考すべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために、海事科学部グローバル輸送科学科ロジスティクスコースでは、書類審査、模擬講義・レポート、総合問題、外部検定試験、個別面談(口頭試問)により、学生の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

## 海事科学部 海洋安全システム科学科

海事科学部海洋安全システム科学科は、地球表面の70%を占める海洋の環境保全，四面を海に囲まれた我が国の持続的発展に必要不可欠な海洋の開発と活用，及び，海域において安全で安心できる社会の実現を理念としています。これに基づき，地球環境保全・エネルギーの安定確保・海域における防災と減災に関する基本的哲学と素養，研究開発のための能力と技術を身に付けた人材の育成を目標として，次のような学生を求めています。

海事科学部（海洋安全システム科学科）の求める学生像

- 【人間性】 様々な人と主体的かつ協働して学ぶ意思のある学生
- 【創造性】 自ら思考する力を養い，新たな発想を表現しようと努力する学生
- 【国際性】 国際的に活躍するため英語などの外国語を進んで習得し，多様な異文化を理解しようとする学生
- 【専門性】 幅広く，豊かな教養とともに理工学を基盤とした専門的知識を身に付け，社会の様々な出来事を分析し，論理的・創造的に思考するべく努力する学生

以上のような学生を選抜するために，海事科学部海洋安全システム科学科では書類審査，総合問題，小論文，面接・口頭試問により，学生の得意とする分野あるいは最も力を入れてきた活動とその成果，知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性を多面的に評価します。

### 3 募集人員及び入試区分

学部	学科	専攻・コース	募集人員	備考
文学部	人文学科		3	
国際人間科学部	環境共生学科		5	
法学部	法律学科		3	
医学部	保健学科	看護学専攻	2	
		検査技術科学専攻	2	
		理学療法学専攻	2	
		作業療法学専攻	2	
工学部	建築学科		2	
	市民工学科		2	
	電気電子工学科		2	
	機械工学科		2	
	応用化学科		2	
	情報知能工学科		2	
農学部	食料環境システム学科	生産環境工学コース	2	
		食料環境経済学コース	2	
	資源生命科学科	応用動物学コース	1	
		応用植物学コース	1	
	生命機能科学科	応用生命化学コース	1	
		環境生物学コース	3	
海事科学部	グローバル輸送科学科	航海マネジメントコース	5	
		ロジスティクスコース	1	
	海洋安全システム科学科		1	
合 計			48	

(注) 選抜の結果によっては、合格者が募集人員に対し増減する場合があります。その場合は、一般入試前期日程の募集人員で調整します。

#### 4 入試日程（予定）

学部	学科	専攻・コース	出願期間	第1次選抜	第1次選抜 合格発表	最終選抜	最終選抜 合格者発表
文学部	人文学科		8月上旬	9月下旬	10月中旬	10月下旬	11月下旬
国際人間科学部	環境共生学科						
法学部	法律学科						
医学部	保健学科	看護学専攻					
		検査技術科学専攻					
		理学療法学専攻					
		作業療法学専攻					
工学部	建築学科						
	市民工学科						
	電気電子工学科						
	機械工学科						
	応用化学科						
	情報知能工学科						
農学部	食料環境システム学科	生産環境工学コース					
		食料環境経済コース					
	資源生命科学科	応用動物学コース					
		応用植物学コース					
	生命機能科学科	応用生命化学コース					
		環境生物学コース					
海事科学部	グローバル輸送科学科	航海マネジメントコース					
		ロジスティクスコース					
	海洋安全システム科学科						



## 5 入学者選抜方法等

# 文学部

◆募集人員 3人

## ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 文学部での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」「小論文」「面接・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（文系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（文系）」では、高等学校全般の学習を前提として、人文学を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「小論文」「面接・口頭試問」を課し、その結果を総合して最終合格者を決定します。

「小論文」では、人文学に関する諸問題について論述させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

「面接・口頭試問」では、提出書類を参考に文学部での学びに関する質疑応答を行い、そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（文系）	200点	
	総合問題（文系）	300点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	小論文	100点	神戸大学 文学部
	面接・口頭試問	100点	
	<b>合否判定</b>	<b>200点</b>	

# 国際人間科学部 環境共生学科

◆募集人員 5人

## ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

## ◆出願要件

国際人間科学部環境共生学科での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「ポスタープレゼンテーション・小論文」「面接・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、環境共生学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

### 【最終選抜】

第1次選抜合格者に対して、プレゼンテーション用ポスターの持参を求め、最終選抜を行います。

最終選抜では、「ポスタープレゼンテーション・小論文」「面接・口頭試問」を課し、その結果を総合して最終合格者を決定します。

「ポスタープレゼンテーション・小論文」では、ポスタープレゼンテーション・小論文により志願者の

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

「面接・口頭試問」では、質疑応答により志願者の「判断力・思考力」「主体性・協働性」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	ポスタープレゼンテーション・小論文	100点	神戸大学 国際人間科学部
	面接・口頭試問	50点	
	<b>合否判定</b>	<b>150点</b>	

# 法学部

## ◆募集人員

3人

## ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月に卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月に修了又は修了見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 法学部での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約する者。
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。 ※活動報告書の記載内容を客観的に証明する書類を併せて提出してください。 例えば、社会貢献活動、国際的活動、リーダーシップ経験（生徒会長等）、高等学校等でおこなった課題研究、全国レベルの大会の入賞等の活動等を証明する書類や、高い外国語能力を証明する書類（TOEFL, TOEIC, IELTS, 実用英語技能検定, GTEC-CBT, TestDaF, DALF, HSK等）を提出してください。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。
・自己推薦書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」「面接・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学選抜要項を確認してください。

**【第1次選抜】**

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（文系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（文系）」では、高等学校全般の学習を前提として、法学・政治学を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、自己推薦書の提出を求め、最終選抜を行います。

最終選抜では、「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「面接・口頭試問」では、提出書類を参考に質疑応答を行い、そこから志願者の「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（文系）	150点	
	総合問題（文系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	面接・口頭試問	800点	神戸大学 法学部
	<b>合否判定</b>	<b>1400点</b>	

# 医学部 保健学科 看護学専攻

## ◆募集人員

2人

## ◆出願資格

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月に卒業又は卒業見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 医学部保健学科看護学専攻での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「課題提示・プレゼンテーション・口頭試問」「面接」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、看護学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

### 【最終選抜】

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「課題提示・プレゼンテーション・口頭試問」「面接」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「課題提示・プレゼンテーション・口頭試問」では、事前課題に対するプレゼンテーション及び質疑応答・口頭試問により、志願者の「思考力・表現力・判断力」を評価します。「面接」では、質疑応答により志願者の「判断力・思考力」「主体性・協働性」を評価します。



選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	課題提示・プレゼンテーション・口頭試問	150点	神戸大学 医学部保健学科
	面接	150点	
	<b>合否判定</b>	<b>900点</b>	

# 医学部 保健学科 検査技術科学専攻

◆募集人員 2人

## ◆出願資格

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月に卒業又は卒業見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 医学部保健学科検査技術科学専攻での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 数ⅡⅢ，数AB（理数科にあつては，理数数学ⅠⅡ，理数数学特論）及び，以下から2科目以上〔物理，化学，生物（理数科にあつては，理数物理，理数化学，理数生物）〕を履修し単位を修得しているか，又は入学時まで単位を修得見込みの者。
- (3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「課題提示・プレゼンテーション・口頭試問」「面接」の結果に基づき，第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。  
 なお，選抜内容，配点，実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は，平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では，調査書，志願理由書，活動報告書，学業等評価書から，志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，検査技術科学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

### 【最終選抜】

第1次選抜合格者に対して，最終選抜を行います。

最終選抜では，「課題提示・プレゼンテーション・口頭試問」「面接」を課し，第1次選抜及び最終選抜

の結果を総合して最終合格者を決定します。

「課題提示・プレゼンテーション・口頭試問」では、課題に対するプレゼンテーション及び質疑応答・口頭試問により、志願者の「理解力」「問題発見力」「問題解決力」「表現力」「判断力」「志望専攻への適性」を総合的に評価します。

「面接」では、面接委員の質問に対する応答により、志願者の「意欲」「積極性」「理解力」「判断力」「表現力」「協調性」「志望専攻への適性」を総合的に評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	課題提示・プレゼンテーション・口頭試問	400点	神戸大学 医学部保健学科
	面接	200点	
	<b>合否判定</b>	<b>1200点</b>	

# 医学部 保健学科 理学療法学専攻

## ◆募集人員

2人

## ◆出願資格

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月に卒業又は卒業見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 医学部保健学科理学療法学専攻での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。
- (3) 理科の物理、化学、生物（理数科にあつては、理数物理、理数化学及び理数生物）のうち2科目以上履修しており、かつ理科の評定平均が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、理学療法学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

### 【最終選抜】

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「面接」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

最終選抜では、「面接」により志願者の「志望動機」「将来の方向性，理学療法士となる資質」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	面接	600点	神戸大学
	<b>合否判定</b>	<b>1200点</b>	医学部保健学科

# 医学部 保健学科 作業療法学専攻

## ◆募集人員

2人

## ◆出願資格

高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月に卒業又は卒業見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 医学部保健学科作業療法学専攻での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「模擬実習・口頭試問」「面接」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、作業療法学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

### 【最終選抜】

第1次選抜合格者に対して、医学部（保健学科）での最終選抜を行います。

最終選抜では、「模擬実習・口頭試問」「面接」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「模擬実習・口頭試問」では、作業課題の実施により志願者の「就学準備性」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	模擬実習・口頭試問	300点	神戸大学 医学部（保健学科）
	面接	300点	
	<b>合否判定</b>	<b>1200点</b>	

# 工学部 建築学科

◆募集人員

2人

◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 工学部建築学科での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 数ⅡⅢ，数AB（理数科にあつては，理数数学ⅠⅡ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあつては，理数物理，理数化学）を履修し単位を修得しているか，又は入学時まで単位を修得見込みの者。  
 ※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。
- (3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。
- (4) 特筆すべき資質・能力を有することを示す書類を提出できる者。

◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	<p>所定の様式で志願者本人が作成したもの。</p> <p>次のいずれか1つ又は複数の項目に該当する書類を含み提出し，特筆すべき資質，能力を有すること示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 国際レベル又は日本全国レベルの科学的な大会の入賞等を証明する書類                      （平成28年4月1日以降の経験に限る）</li> <li>(2) 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類                      （例えばスーパーグローバルハイスクール（SGH）又はスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校においてSGH又はSSHに関連するコースや科目を履修し，得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類等）                      （平成28年4月1日以降の経験に限る）</li> <li>(3) TOEIC（L&amp;R）のスコア（平成28年4月1日以降のスコアに限る）                      なお，日本国外で実施されたTOEIC，団体受験用のTOEIC-IPテストは認めません。</li> <li>(4) TOEFL-iBTのスコア（出願時において有効期限内のスコアに限る）                      なお，TOEFL-ITP，TOEFL-PBT，TOEFL-CBTは認めません。</li> <li>(5) 海外研修又は留学の事実を証明する書類                      （平成28年4月1日以降の経験に限る）</li> <li>(6) 高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類                      （平成28年4月1日以降の経験に限る）</li> </ul>



	(7) ボランティア等の社会貢献活動で特筆すべき成果を証明する書類 (平成28年4月1日以降の成果に限る)
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート(理系)」「総合問題(理系)」「小論文」「面接・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート(理系)」「総合問題(理系)」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート(理系)」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題(理系)」では、高等学校全般の学習を前提として、建築学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力(数学的思考力も含む)等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

【最終選抜】

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「小論文」「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「小論文」では、空間デザインに関する小論文を論述させ(スケッチ等を含む場合があります)、志願者の独創性と論理整合性を評価します。

なお、空間デザインとは、計画、構造、環境(音・熱・光を扱う分野)という建築学の基礎的学問領域の視点を、空間的なデザインに統合し、実現することです。

「面接・口頭試問」では、小論文をもとに、専門分野の教員と質疑応答を行い、志願者の応答の妥当性を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート(理系)	150点	
	総合問題(理系)	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	小論文	200点	神戸大学 工学部
	面接・口頭試問	200点	
	<b>合否判定</b>	<b>1000点</b>	

# 工学部 市民工学科

◆募集人員 2人

◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

◆出願要件

次の(1)～(3)のすべてを満たし、かつ(4)又は(5)を満たすもの

- (1) 工学部市民工学科での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 数ⅡⅢ，数A B（理数科にあつては，理数数学ⅠⅡ及び理数数学特論）及び理科の物理及び化学（理数科にあつては，理数物理及び理数化学）を履修している者。  
※上記科目を高等学校等で履修できない場合は，個別に判断します。
- (3) 調査書の数ⅡⅢ，数A B（理数科にあつては，理数数学ⅠⅡ及び理数数学特論）及び理科の物理及び化学（理数科にあつては，理数物理及び理数化学）の評定平均値が4.2以上の者。
- (4) 理数系の国内外行事（理数系に関連した海外留学や国内外での活動・事業）に参加し，優秀な成績・業績を収めた者（平成28年4月1日以降の業績に限る）。
- (5) TOEFL-iBTのスコア80点以上(出願時において有効期限内のスコア)又は実用英語技能検定準1級以上を取得した者。

◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。 次のいずれかの項目に該当する書類を含み提出してください。 (1) 理数系の国内外行事等（理数系に関連した海外留学や国内外での活動・事業等）への参加に関する内容を含み，それに関する参加・成績証明書類。 (2) TOEFL-iBTのスコア又は実用英語技能検定準1級以上の合格証明書。
・学修計画書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「小論文」「演習」「面接・口頭試問」の結果に基づき第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお，選抜内容，配点，実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は，平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第1

次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、市民工学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

### 【最終選抜】

第1次選抜合格者に対して、学修計画書の提出を求め、最終選抜を行います。

最終選抜では、「小論文」「演習」「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「小論文」では、市民工学に関する問題について、自身の考えを論述させ、志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

「演習」では、市民工学の力学系基礎科目又は数理統計を中心とした土木計画系基礎科目について、ミニ講義を行った後、演習問題を提示して解答させます。そこから志願者の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。

「面接・口頭試問」では、志願理由書、活動報告書、学修計画書を参考に、志望理由やこれまでの活動内容について口頭試問することで、志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価するとともに、市民工学科への入学適性について判断します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	小論文	200点	神戸大学 工学部
	演習	200点	
	面接・口頭試問	200点	
	<b>合否判定</b>	<b>1200点</b>	

# 工学部 電気電子工学科

◆募集人員 2人

◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 工学部電気電子工学科での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 数ⅡⅢ、数A B（理数科にあっては、理数数学ⅠⅡ、理数数学特論）及び理科の物理、化学（理数科にあっては、理数物理、理数化学）を履修し単位を修得しているか、又は入学時まで単位を修得見込みの者。  
 ※上記科目を高等学校等で履修できない場合は、個別に判断します。
- (3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ数学・理科の評定平均値が4.5以上の者。
- (4) 特筆すべき資質・能力を有することを示す書類を提出できる者。

◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書※	所定の様式で志願者本人が作成したもの。 特筆すべき資質・能力を客観的に示す書類を含め提出して下さい。 例えば、社会貢献活動、国際的活動、学術論文、科学的な全国レベルの大会の入賞、数学・物理オリンピック等の活動等です。必要に応じて英語の能力を示す内容（TOEFLやTOEICのスコア、実用英語技能検定の取得状況等）も含めて下さい。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「プレゼンテーション・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

**【第1次選抜】**

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志

願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、電気電子工学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

### 【最終選抜】

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「プレゼンテーション・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「プレゼンテーション」では、志望理由書、活動報告書に基づくプレゼンテーションを課し、それに関する質疑応答を行うことで志願者の「表現力」「主体性・多様性」を評価するとともに、「口頭試問」では、数学及び物理について出題し、志願者の「知識・技能」「思考力・判断力」及び科学技術分野での活躍を期待させる「意欲」を有するかを評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	プレゼンテーション・口頭試問	600点	神戸大学 工学部
	<b>合否判定</b>	<b>1200点</b>	

# 工学部 機械工学科

## ◆募集人員

2人

## ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを平成28年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

## ◆出願要件

次の(1)を満たし、かつ(2)～(5)のいずれかを満たすもの

- (1) 工学部機械工学科での勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学等の自然科学分野において優れた自由研究を行い、次のいずれかに該当（予定の者も含む）する者（平成28年4月1日以降の経験に限る）。
  1. スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会（文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構主催）の出場者。
  2. 国際数学オリンピック又は日本数学オリンピック本戦の出場者。
  3. 国際物理オリンピック又は全国物理コンテスト第2チャレンジの出場者。
- (3) 実用英語技能検定準1級以上を取得した者（平成28年4月1日以降の取得に限る）。
- (4) TOEIC (L&R) で750点以上を取得した者（平成28年4月1日以降のスコアに限る）。  
なお、団体受験用のTOEIC-IPテストは認めません。
- (5) TOEFL-iBTで80点以上を取得した者（出願時において有効期限内のスコアに限る）。  
なお、TOEFL-IPT, TOEFL-PBT, TOEFL-CBTは認めません。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	<p>所定の様式で志願者本人が作成したもの 次のいずれか1つ又は複数の項目に該当する書類を含み提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に出場したことが証明できる書類。</li> <li>(2) (1)の研究要旨、研究の概要、研究に対する志願者の貢献度について本人が作成したもの（任意様式）。</li> <li>(3) 国際レベル又は日本全国レベルの科学的な大会の入賞等を証明する書類。</li> <li>(4) 実用英語技能検定準1級以上を取得した者は合格証明書（和文）を提出。</li> <li>(5) TOEIC (L&amp;R) で750点以上を取得した者はTOEIC公式認定書の原本を提出。</li> <li>(6) TOEFL-iBTで80点以上を取得した者はTOEFL-iBTのスコアシートの原本を提出。</li> </ol>

・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。		
<b>◆選抜方法</b>			
<p>「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）及び（機械）」「プレゼンテーション」「面接・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。</p> <p>なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。</p>			
<b>【第1次選抜】</b>			
<p>「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。</p> <p>「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。</p> <p>「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。</p> <p>「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、機械工学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。</p>			
<b>【最終選抜】</b>			
<p>第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。</p> <p>最終選抜では、「総合問題（機械）」「プレゼンテーション」「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。</p> <p>「総合問題（機械）」では、数学及び物理について出題し、それに対する解答を通じて「数物系科目の基礎学力」を評価します。</p> <p>「プレゼンテーション」では、予め与えた課題に対する発表により志願者の「知識・専門性」「思考力・表現力」を評価します。</p> <p>「面接・口頭試問」では、面接により志願者の「主体性・好奇心・意欲」を評価するとともに、口頭試問により「知識・技能」「思考力・判断力・洞察力」を評価します。</p>			
<b>選抜段階</b>	<b>内容</b>	<b>配点</b>	<b>実施場所</b>
<b>第1次選抜</b>	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
<b>最終選抜</b>	総合問題（機械）	300点	神戸大学 工学部
	プレゼンテーション	100点	
	面接・口頭試問	200点	
	<b>合否判定</b>	<b>1200点</b>	

# 工学部 応用化学科

**◆募集人員**

2人

**◆出願資格**

次のいずれかを満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

**◆出願要件**

次の(1)を満たし、かつ(2)～(6)のいずれかを満たすもの

- (1) 工学部応用化学科での勉強を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 調査書の英語・数学・化学(理数科にあっては、理数化学)、物理(理数科にあっては、理数物理)による評定平均値が4.0以上の者。
- (3) 高等学校等において、数学、物理、化学、生物、地学などの自然科学分野において優れた自由研究を行い、次のいずれかに該当(予定の者も含む)する者(平成28年4月1日以降の経験に限る)。
  - 1. スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会(文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構(以下、JST)主催)の出場者。
  - 2. 次のJST次世代人材育成事業「国際科学技術コンテスト支援事業」で支援される教科系コンテストの出場者。
    - ・日本数学オリンピック本戦出場者
    - ・化学グランプリ二次選考出場者
    - ・日本生物学オリンピック本戦出場者
    - ・全国物理コンテスト「物理チャレンジ」全国大会(第2チャレンジ)出場者
    - ・日本情報オリンピック本戦出場者
    - ・日本地学オリンピック本戦出場者
    - ・科学地理オリンピック日本選手権第3次選拔出場者

※上記の出場者とは予選通過の上、選抜大会等に出席したものとする。予選通過のみで選抜大会を欠席したものは認めない。
- (4) 実用英語技能検定準1級以上を取得した者。
- (5) TOEIC(L&R)で750点以上を取得した者。  
なお、団体受験用のTOEIC-IPテストは認めません。
- (6) TOEFL-iBTで80点以上を取得した者。  
なお、TOEFL-ITP、TOEFL-PBT、TOEFL-CBTは認めません。

**◆提出書類**

・ 調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・ 志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・ 活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。 (1) スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に出場したものは出場が証明できる書類を提出してください。 (2) JST次世代人材育成事業「国際科学技術コンテスト支援事業」で支援される教科系コンテストにて本戦に出場したものは出場したことを証明する書類を提出してください。 (3) 実用英語技能検定準1級以上を取得した者は合格証明書(和文)を提出してください。 (4) TOEIC(L&R)で750点以上を取得した者はTOEIC公式認定書の原本を提出してください。



	(5) TOEFL-iBTで80点以上を取得した者はTOEFL-iBTのスコアシートの原本を提出してください。		
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。		
<b>◆選抜方法</b>			
<p>「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「化学演習・発表」「口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。</p> <p>なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。</p>			
<b>【第1次選抜】</b>			
<p>「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。</p> <p>「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。</p> <p>「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。</p> <p>「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、応用化学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。</p>			
<b>【最終選抜】</b>			
<p>第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。</p> <p>最終選抜では、「化学演習・発表」「口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。</p> <p>試験当日に試験会場において英文で書かれた資料を配布しますので、それを与えられた時間で理解したうえで答案を記述した後、答案について日本語により口頭発表・解説をさせます。そこから志願者の「知識・技能」「表現力・思考力」「主体性」を評価します。</p> <p>なお、「口頭試問」では、第1次選抜のレポート・総合問題に関する質疑を含むこともあります。</p>			
<b>選抜段階</b>	<b>内容</b>	<b>配点</b>	<b>実施場所</b>
<b>第1次選抜</b>	書類審査	20点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	40点	
	総合問題（理系）	40点	
	<b>合否判定</b>	<b>100点</b>	
<b>最終選抜</b>	化学演習・発表	200点	神戸大学 工学部
	口頭試問	100点	
	<b>合否判定</b>	<b>400点</b>	

# 工学部 情報知能工学科

<b>◆募集人員</b>		2人
<b>◆出願資格</b>		
高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。		
<b>◆出願要件</b>		
次の(1)～(4)のすべてを満たす者		
(1) 工学部情報知能工学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学することを確約する者。		
(2) 数ⅡⅢ、数A B (理数科にあっては、理数数学ⅠⅡ、理数数学特論) 及び理科の物理、化学 (理数科にあっては、理数物理、理数化学) を履修し単位を修得しているか、又は入学時まで単位を修得見込みの者。 ※上記科目を高等学校等で履修できない場合は、個別に判断します。		
(3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ数学と理科の評定平均値が4.5以上の者		
(4) 次のいずれかを満たす者		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際数学オリンピックに日本代表として出場した者。</li> <li>2. 国際物理オリンピックに日本代表として出場した者。</li> <li>3. 国際情報オリンピックに日本代表として出場した者。</li> <li>4. 実用英語技能検定準1級以上を取得した者 (平成28年4月1日以降の取得に限る)。</li> <li>5. TOEIC (L&amp;R) で750点以上を取得した者 (平成28年4月1日以降のスコアに限る)。              なお、団体受験用のTOEIC-IPテストは認めません。</li> <li>6. TOEFL-iBTで80点以上を取得した者 (出願時において有効期限内のスコアに限る)。              なお、TOEFL-ITP, TOEFL-PBT, TOEFL-CBTは認めません。</li> <li>7. 調査書の全体の評定平均値が4.5以上の者。</li> </ol>		
<b>◆提出書類</b>		
・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。	
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。	
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。 次のいずれか1つ又は複数の項目に該当する書類を含み提出してください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際数学オリンピックに出場したことを証明する書類。</li> <li>2. 国際物理オリンピックに出場したことを証明する書類。</li> <li>3. 国際情報オリンピックに出場したことを証明する書類。</li> <li>4. 実用英語技能検定準1級以上の合格証明書 (和文)。</li> <li>5. TOEIC (L&amp;R) 公式認定証の原本。</li> <li>6. TOEFL-iBT のスコアレポートの原本。</li> </ol>	
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。	
・学修計画書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。	

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「総合問題（情報知能工学）」「面接・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、情報知能工学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

### 【最終選抜】

第1次選抜合格者に対して、学修計画書の提出を求め、最終選抜を行います。

最終選抜では、「総合問題（情報知能工学）」「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「総合問題（情報知能工学）」では、数学や物理学、情報知能工学に関する主として論述形式の筆記試験により、志願者の「思考力・判断力・表現力」「洞察力・発想力」を評価します。

「面接・口頭試問」では、志望理由書及び学修計画書を資料とした面接・口頭試問を行い、志願者の「基礎学力」、情報知能工学に関する「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」「好奇心・意欲」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	総合問題（情報知能工学）	600点	神戸大学 工学部
	面接・口頭試問	600点	
	<b>合否判定</b>	<b>1800点</b>	

# 農学部 食料環境システム学科 生産環境工学コース

◆募集人員 2人

## ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 農学部食料環境システム学科生産環境工学コースでの勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次選抜合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から、志願者の「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、生産環境工学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「面接・口頭試問」では、面接により志願者の「数学，物理学をはじめとする自然科学に関する基礎知識」「志願するコースの教育に対する理解，能力と適性」「学習に対する関心と意欲」等を総合的に評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	面接・口頭試問	300点	神戸大学 農学部
	<b>合否判定</b>	<b>900点</b>	

# 農学部 食料環境システム学科 食料環境経済学コース

◆募集人員 2人

◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 農学部食料環境システム学科食料環境経済学コースでの勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」「面接・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

【第1次選抜】

アドミッションセンターにおいて「書類審査」「模擬講義・レポート（文系）」「総合問題（文系）」を課し、その結果を総合して第1次合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（文系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（文系）」では、高等学校全般の学習を前提として、食料環境経済学を学ぶ上で必要な日本語や英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。そこから志願者の「知識」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（文系）	150点	
	総合問題（文系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	面接・口頭試問	300点	神戸大学 農学部
	<b>合否判定</b>	<b>900点</b>	

# 農学部 資源生命科学科 応用動物学コース

◆募集人員 1人

◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 農学部資源生命科学科応用動物学コースでの勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 理科の化学、生物（理数科にあつては、理数化学、理数生物）を履修し単位を修得しているか、又は入学時まで単位を修得見込みの者。  
※上記科目を高等学校等で履修できない場合は、個別に判断します。
- (3) 調査書の全体評定平均が4.0以上の者。

◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接・プレゼンテーション」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

**【第1次選抜】**

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、応用動物学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。



**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「面接・プレゼンテーション」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。そこから志願者の「知識・思考力・表現力」「理解力・判断力」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	面接・プレゼンテーション	300点	神戸大学 農学部
	<b>合否判定</b>	<b>900点</b>	

# 農学部 資源生命科学科 応用植物学コース

◆募集人員 1人

## ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 農学部資源生命科学科応用植物学コースでの勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 数ⅡⅢ、数AB（理数科にあっては、理数数学ⅠⅡ、理数数学特論）及び、以下から2科目以上（物理、化学、生物、地学（理数科にあっては、理数物理、理数化学、理数生物、理数地学））を履修している者。  
※上記科目を高等学校等で履修できない場合は、個別に判断します。
- (3) 調査書の全体評定平均が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接・口頭試問」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、応用植物学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。そこから志願者が当コースで学ぶための「目的意識，意欲，修学に必要な基礎学力，コミュニケーション能力」等の適性を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	面接・口頭試問	300点	神戸大学 農学部
	<b>合否判定</b>	<b>900点</b>	

# 農学部 生命機能科学科 応用生命化学コース

◆募集人員 1人

## ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 農学部生命機能学科応用生命化学コースでの勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ化学（理数科にあつては、理数化学）の評定が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接・口頭試問・実技試験」の結果に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、応用生命化学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「面接・口頭試問・実技試験」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「面接」では、「思考力・判断力・表現力・主体性・協働性」を評価します。

「口頭試問・実技試験」では、生命科学に関連する内容です。そこから志願者の「知識・技能・思考力・判断力・表現力」や応用生命化学分野への適性を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	面接・口頭試問・実技試験	300点	神戸大学 農学部
	<b>合否判定</b>	<b>900点</b>	

# 農学部 生命機能科学科 環境生物学コース

◆募集人員 3人

◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 農学部生命機能学科環境生物学コースでの勉学を強く志望し、合格した場合は入学することを確約できる者。
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により、高等学校等において作成し、厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接・口頭試問・プレゼンテーション」に基づき、第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお、選抜内容、配点、実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は、平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

**【第1次選抜】**

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し、その結果を総合して第1次合格者を決定します。

「書類審査」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書から「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では、講義を受講させ、その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、環境生物学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「面接・口頭試問・プレゼンテーション」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合し

で最終合格者を決定します。

「面接」により志願者の「農学部生命機能学科環境生物学コースで勉学する意欲」を、「口頭試問」により「知識・論理的思考力」を、「プレゼンテーション」により「主体性・表現力」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	面接・口頭試問・プレゼンテーション	300点	神戸大学 農学部
	<b>合否判定</b>	<b>900点</b>	

# 海事科学部 グローバル輸送科学科 航海マネジメントコース

◆募集人員 5人

## ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを平成28年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

## ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 海事科学部グローバル輸送科学科航海マネジメントコースでの勉学を強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。
- (2) 数ⅡⅢ，数A B（理数科にあつては，理数数学ⅠⅡ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあつては，理数物理，理数化学）について履修し単位を得ているか，もしくは入学時まで単位を修得見込みの者。
- (3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式等により，高等学校等において作成し，厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。 特にTOEFL (L&R) やTOEIC-iBTのスコア，実用英語技能検定について記載できるものがあれば記載し，公式スコアシートや合格証明書を提出してください。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「模擬実習・面接・口頭試問」の結果に基づき，第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお，選抜内容，配点，実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は，平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第1次合格者を決定します。

「書類審査」では，調査書，志願理由書，活動報告書，学業等評価書から「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。



「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、グローバル輸送科学・航海マネジメントを学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「模擬実習・面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「模擬実習」では、与えられた課題にグループで取り組ませます。

ただし、課題の達成度は評価の対象にはなりません。その後、「面接・口頭試問」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書、並びに「模擬実習」を踏まえての口頭試問を実施し、そこから専門的な観点から志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」「協調性」を評価するとともに、グローバル輸送科学科・航海マネジメントコースへの理解や志向性等を総合的に評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	100点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	150点	
	総合問題（理系）	350点	
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	
最終選抜	模擬実習・面接・口頭試問	300点	神戸大学
	<b>合否判定</b>	<b>900点</b>	海事科学部

# 海事科学部 グローバル輸送科学科 ロジスティクスコース

◆募集人員 1人

## ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

## ◆出願要件

次の(1)～(3)を満たし、かつ(4)又は(5)のいずれかを満たすもの

- (1) 海事科学部グローバル輸送科学科ロジスティクスコースでの勉学を強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。
- (2) 数ⅡⅢ，数A B（理数科にあつては，理数数学ⅠⅡ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあつては，理数物理，理数化学）について履修し単位を得ているか，もしくは入学時まで単位を修得見込みの者。
- (3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。
- (4) TOEFL-iBT又はIELTSのスコアを持つ者（出願時において有効期限内のスコアに限る）。
- (5) TOEIC (L&R) のスコアを持つ者(平成28年4月1日以降のスコアに限る)。

## ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。 TOEFL iBTのExaminee Score Report又はTOEICのOfficial Score Certificate又はIELTSのTest Report Formの原本を添付すること。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

## ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。

なお，選抜内容，配点，実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は，平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第1次合格者を決定します。

「書類審査」では，調査書，志願理由書，活動報告書，学業等評価書から「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では、高等学校全般の学習を前提として、グローバル輸送科学・ロジスティクスコースで学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力、英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「面接・口頭試問」では、調査書、志願理由書、活動報告書、学業等評価書及び英語外部試験に関する書類、並びに第1次選抜の結果を参考に口頭試問を実施し、グローバル輸送科学科・ロジスティクスコースへの理解や志向性、英語力等を総合的に評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	50点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	75点	
	総合問題（理系）	175点	
	<b>合否判定</b>	<b>300点</b>	
最終選抜	面接・口頭試問	300点	神戸大学
	<b>合否判定</b>	<b>600点</b>	海事科学部

## 海事科学部 海洋安全システム科学科

◆募集人員 1人

### ◆出願資格

次のいずれかを満たすもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者。

### ◆出願要件

次のすべてを満たすもの

- (1) 海事科学部海洋安全システム科学科での勉学を強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。
- (2) 数ⅡⅢ，数A B（理数科にあつては，理数数学ⅠⅡ，理数数学特論）及び理科の物理，化学（理数科にあつては，理数物理，理数化学）について履修し単位を得ているか，もしくは入学時まで単位の修得見込みの者。
- (3) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。

### ◆提出書類

・調査書	文部科学省の定めた様式により，高等学校等において作成し，厳封したもの。
・志願理由書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。
・活動報告書	所定の様式で志願者本人が作成したもの。 特にTOEFL (L&R) やTOEIC-iBTのスコア，実用英語技能検定について記載できるものがあれば記載し，公式スコアシートや合格証明書を提出してください。
・学業等評価書	所定の様式で高等学校等が作成したもの。

### ◆選抜方法

「書類審査」「模擬講義・レポート」「総合問題（理系）」「小論文」「面接・口頭試問」の結果に基づき，第1次選抜及び最終選抜において段階的に合格者を決定します。  
なお，選抜内容，配点，実施場所については以下のとおりです。詳細な情報は，平成30年7月頃に発表予定の平成31年度神戸大学入学者選抜要項を確認してください。

#### 【第1次選抜】

「書類審査」「模擬講義・レポート（理系）」「総合問題（理系）」を課し，その結果を総合して第1次合格者を決定します。

「書類審査」では，調査書，志願理由書，活動報告書，学業等評価書から「知識・技能」「判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価します。

「模擬講義・レポート（理系）」では，講義を受講させ，その講義レポートを作成させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性」を評価します。

「総合問題（理系）」では，高等学校全般の学習を前提として，海洋安全システム科学を学ぶ上で必要な自然科学に関する基礎的な知識・理解力，英語の読解力・文章表現力及び論理的思考力（数学的思考力も含む）等を問います。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。

**【最終選抜】**

第1次選抜合格者に対して、最終選抜を行います。

最終選抜では、「小論文」「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「小論文」では、自身が最も得意とする分野あるいはこれまでに最も力を入れて行ってきた活動とその成果について論述させます。分野は5教科に限るものではなく、芸術や体育関連等も含まれます。例えば、数学オリンピックやロボットコンテスト等での健闘、発明や特許、国際交流、全国あるいはそれに準ずるレベルの大会・展覧会・発表会等での活躍等が挙げられます。

「面接・口頭試問」では、「小論文」で書いてもらう得意な分野や活動成果を中心に諮問を行い、志願者の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性」を評価します。

選抜段階	内容	配点	実施場所
第1次選抜	書類審査	50点	神戸大学
	模擬講義・レポート（理系）	75点	
	総合問題（理系）	175点	
	<b>合否判定</b>	<b>300点</b>	
最終選抜	小論文	300点	神戸大学 海事科学部
	面接・口頭試問	300点	
	<b>合否判定</b>	<b>900点</b>	

問い合わせ先

神戸大学 学務部入試課 TEL : 078-803-5230・5235

時間 9:00～17:00（土日祝日及び夏季休業，年末年始は除く。）